

OpenSUSI シャトルサービス利用規約

最終更新日: 2026 年 05 月 24 日

OpenSUSI の提供するシャトルサービス「OpenSUSI MPW サービス」（以下「サービス」）をあなた（以下「ユーザー」）が利用するにあたっては、以下の利用規約（以下「本規約」）が適用されます。本規約をよくお読みのうえ、ご同意いただける場合に限り、申込画面の「同意する」ボタンを押下してお進みください。「同意する」ボタンの押下と利用申込みの送信をもって、本規約のすべての条項に同意したものとします。ユーザーが組織（会社、団体、教育機関等）として本サービスを利用する場合、申込画面の「同意する」ボタンを押下する方は、当該組織を代表して本規約に同意する権限を有することを表明・保証します。

1. サービスの利用

- 申込みをいただいた後、OpenSUSI から見積書を発行し、発注書フォーマットとともにユーザーへ送付します。ユーザーにおいて、発注書を OpenSUSI へと送付し、OpenSUSI が受領して発注確認書を発行した時点で、OpenSUSI とユーザーとの間での本規約に基づくサービス利用契約が成立します。発注確認書発行後のサービス申込みキャンセルはお受けしかねます。
- サービスにおいては、株式会社東海理化電機製作所（以下「東海理化」）のプロセスデザインキット（以下「PDK」）情報に基づきユーザーが設計したカスタム IC の設計データ（GDSII データ）に基づき、東海理化が 1.0 μ m プロセス技術を用いた試作製造を行います。サービスの利用にあたり、本規約と別に東海理化が定めたルールがユーザーに示された場合、ユーザーは当該ルールにも従うものとします。
- サービスは日本国内向けとなります。また、サービスにおいては、商用レベルの品質や継続的なサポートは保証されません。
- ユーザーご自身が作成した設計データについては、紛失や消去に備えて、ユーザーご自身において必要なバックアップをとるなど、責任をもって保管してください。
- サービスは、ユーザーの教育・研究目的や、ホビー目的で提供され、サービスを利用して製造された IC チップおよびパッケージ（以下「成果物」）は量産用途ではない半導体試作品として提供されます。成果物について、OpenSUSI 及び東海理化は半導体試作品としての使用を超えて何らの動作保証も行いません。
- サービスの利用申込みにあたり、OpenSUSI は、ユーザーが 5 条の禁止事項に該当すると判断した場合やそのおそれがあると判断した場合は、サービスの利用をお断りすることがあります。また、5 条の禁止事項該当性の確認のため、ユーザーへ追加資料の提出を求める場合があります。
- サービスにおいてユーザーが GitHub にて開発される設計データは、アクセス権が public に設定されないと GitHub Entry Form から Submit できません。ユーザーは、Apache License 2.0 またはこれに準ずるオープンソースライセンスを設計データに適用するものとします。また、Submit いただいた後も OpenSUSI GitHub のアクセス権が public で設定されます。なお、OpenSUSI と東海理化は、当該データについては、Apache License 2.0 のライセンス条件で利用することができるものとし、当該データについて営業秘密や限定提供データとして取り扱う義務を負わないものとします。

2. サービスの詳細

- サービスの利用環境および PDK については、OpenSUSI GitHub の template repository の資料をご参照ください。
- サービスにおける成果物は、ユーザーが申込時に記載した住所へと郵送して納品します。成果物に、東海理化の製造工程やユーザーへの輸送過程に起因する疑いのある動作不良や破損等の不具合（契約不適合）が発生した場合、ユーザーは成果物受領後 30 日以内に OpenSUSI に対して書面または電子メールにより通知し、必要に応じて成果物を返送してください。調査の結果として不具合が製造工程や輸送過程に起因することが明らかな場合には、東海理化と協議の上、修正、補修、再製造または代替品の提供といった対応を実施します。当該期間を超えて OpenSUSI は契約不適合責任を負いません。
- OpenSUSI は、ユーザーが申込時に記載した連絡先へと連絡や郵送等を行いますので、連絡先については誤りのないようご注意ください。連絡先の誤りについて生じた連絡未達や郵送物の不着等の問題について、OpenSUSI は責任を負いません。

3. GDSII データの提出

- ユーザーは、OpenSUSI に提出する GDSII データの設計内容に関してすべての権利を保持します。但し、提出物は公開され、第三者から閲覧・再使用される場合があります。
- ユーザーは、提出された設計内容および当該設計内容に基づく成果物やその製造が第三者の知的財産権を侵害しないことを保証するものとします。
- OpenSUSI は、ユーザーから提出された GDSII データを取りまとめて東海理化へと提出します。

4. サービス利用料

- ユーザーは、OpenSUSI が指定するサービス利用料を、OpenSUSI が指定する支払期限までに支払うものとします。振込手数料その他支払に要する費用は、ユーザーの負担とします。
- ユーザーが支払ったサービス利用料については、OpenSUSI が発注確認書を発行する前においては、ユーザーが所定の申請書面で返金申請を行った場合に、発生済費用（人件費を含みます）を控除した金額を返金します。発注確認書の発行後においては、OpenSUSI 又は東海理化の責に帰すべき事由によりサービスを利用できなかった場合を除いては一切の返金はいたしかねます。

5. 責任の制限

- OpenSUSI は東海理化への製造委託およびユーザーとの連絡の取次を行います。本サービスに係る半導体の製造主体、設計審査主体、技術検証主体、品質保証主体または継続供給保証主体ではありません。そのため、これら主体が負うような責任を黙示的に負うものではありません。
- サービスにおいては、GitHub 等の外部サービスを利用します。これらの外部サービスに起因して生じた問題について、OpenSUSI は、自らに故意または重大な過失がある場合を除き何ら責任を負いません。
- サービスは現状有姿（AS-IS）かつ試作製造目的で提供され、OpenSUSI は、サービスの完全性・正確性、特定目的への適合性・有用性、商用利用での可用性・信頼性、継続的な動作保証、ユーザー設計内容やデータ内容の技術的妥当性等を保証するものではなく、その他本規約で定めのある場合を除き明示的・黙示的にも何らの保証もいたしません。
- サービスの利用（第 7 条のサービスの利用停止等を含む）に関してユーザーに損害が生じた場合について、OpenSUSI に故意や重過失がある場合を除き、OpenSUSI は一切責任を負いません。OpenSUSI が

損害賠償責任を負う場合であっても、その責任総額は、OpenSUSI の故意または重大な過失による場合を除き、当該損害の原因となった事象に係る個別注文に関して OpenSUSI がユーザーから現実に受領した対価額を上限とし、OpenSUSI は、ユーザーに生じた逸失利益、事業機会の喪失、信用の毀損、データの損失、間接損害、特別損害、付随的損害および結果損害について、当該損害の発生可能性について事前に通知を受けていた場合であっても、当該損害を賠償する責任を負いません。

- サービスの利用によって発生したユーザーのデータ損失やユーザーが第三者に損害を与えた場合その他の問題については、OpenSUSI の故意や重過失に起因する場合を除き、ユーザーの負担と責任において対応いただくこととなります。

6. 禁止事項

【用途制限】

サービスを利用して製造された IC チップおよびパッケージ（以下「成果物」）について、以下の用途での使用は禁止いたします。これらの用途を目的としたサービスの利用も禁止いたしますので、これらの用途目的でのお申込みはおやめください。違反した場合、OpenSUSI はただちにサービスの提供を中止するとともに、（お渡し済の場合）成果物はただちにユーザーの費用負担で返却いただきます。この場合、OpenSUSI はユーザーに対して、自らに生じた損害の賠償を求めることができます。支払済の利用料金については返金いたしません。

- 軍事・防衛関連用途
- 核エネルギー・核施設関連用途
- 重要通信インフラ（電力、交通、金融等）に関わる通信機能を目的とする用途
- 社会インフラの制御システム（電力系統、交通管制、上下水道制御等）用途
- 金融決済システム・電子決済システム用途
- 生命維持装置・医療機器等の安全重要用途
- その他以上に類する人命・安全・社会基盤に重大な影響を与える可能性のある用途

【一般禁止事項】

サービスの利用にあたり、本規約や法令へ違反する行為のほか、以下の行為は禁止しております。これらの行為またはそのおそれがある行為をユーザーが行った場合、OpenSUSI はただちにサービスの提供を中止することができ、支払済の利用料金については返金いたしません。また、OpenSUSI はユーザーに対して、自らに生じた損害の賠償及び（お渡し済の場合）成果物の返却を求めることができます。

- 違法な内容の投稿や配布、不正アクセス、スパム、ウイルスの拡散など、サービスの妨害行為。
- OpenSUSI、東海理化、または第三者の権利を侵害する行為およびそのおそれがある行為
- 反社会的な目的でのサービス利用および反社会的勢力の影響下によるサービス利用
- 成果物の第三者への譲渡・使用許可
- 海外への持ち出し、輸出
- 他者へのなりすましや無権代理によるサービス利用
- 過去に用途制限に違反してサービスを利用した者又はその関係者によるサービス利用
- その他、OpenSUSI がサービスの利用上不適当な行為と合理的な根拠に基づき合理的に判断した行為

7. サービスの利用停止等

- 東海理化の事情、天災、テロ、戦争、疫病等の非常事態その他の事情により本サービスの提供が困難となった場合には、OpenSUSI はサービスの一時停止や終了をすることができます。この場合、OpenSUSI はユーザーへとただちに連絡するものとします。
- ユーザーが本規約に違反した場合や、サービス利用料の支払いを怠った場合について、OpenSUSI は当該ユーザーに対するサービスの提供の全部または一部を停止できるほか、サービス利用契約を解除することができます。また、ユーザーの本規約への違反により OpenSUSI や東海理化に損害が生じた場合、当該損害の一切（合理的な弁護士費用を含みます）についてユーザーに賠償いただきます。

8. 個人情報の取扱い

ユーザーの個人情報については、本規約に定めるほかは、OpenSUSI のウェブサイト

<https://www.opensusi.org/privacy-policy> に記載のプライバシーポリシーに従って取り扱います。

9. 規約の変更

- OpenSUSI は、東海理化のシャトルサービスの提供条件の変更、サービスに関連する実情や社会情勢の変動、税制や法令の変更その他諸般の状況の変化等の事由があると判断した場合、本規約の内容、サービスの利用料金等（以下「本規約の内容等」）を変更することができます。
- OpenSUSI は、本規約の内容等の変更を行う場合は、変更後の本規約の内容等を、OpenSUSI のウェブサイトに表示または当社所定の方法によりユーザーへと通知することでユーザーに周知します。変更後の本規約の内容等は、周知の際に定める適用開始日から適用されるものとします。

10. 準拠法・管轄

- 本規約は、日本国の法律に準拠します。
- OpenSUSI とユーザーとの間でサービスに関する紛争が生じた場合は、東京地方裁判所を専属的合意管轄裁判所とします。

11. 連絡先

サービスや本規約に関してご質問がある場合は、opensusi-mpw@opensusi.org までご連絡ください。